

MHC 創立 20 周年記念 2009MHC 登山講習 紅葉の上高地ゆったり紀行

10/24(土) PM1 : 00、参加者 6 名が県松本合同庁舎駐車場に集合。天候は薄曇り。一台の車に乗り合わせ、国道 158 号線を一路上高地へ向かう。沢渡からは、山麓に色づく紅葉に皆歓声をあげる。平湯方面への道と別れ、暗く長い新釜トンネルを抜け出ると、いよいよ紅葉真っ盛りの上高地に入り込む。

焼岳を左に見て、白樺林の蛇行道路を走り、大きく右に曲がると突然、屹立した穂高岳の先峰群が天高く望まれる。大正池畔で暫らく時間をとって、山岳写真撮影を楽しむ。



大正池畔に憩う



紅葉した唐松林に行く



PM3 : 00 バスターミナルから車を降り、梓川左岸沿いを歩く。川沿いには紅葉した唐松林が連なり、散策道は、さながら赤茶色のジュータンを敷き詰めたように、唐松の落ち葉が敷き詰められている。薄曇りの北空に見上げる穂高岳は、微かに雪を被っている。田代橋から引き返し、ウエストーン碑を通り抜け、右岸沿いの河原を歩きながら、今日の宿、西糸屋山荘に到着、別館に泊す。

夕食後、談話室に集まり、用意した歌集で山の唄を皆で歌う。山荘からご馳走してくれたビールも手伝って、上機嫌で何曲も歌う。他のお客さんも、私達の歌に聞き入っているようだった。この夜、歌の余韻に酔いしれながら就寝する。

木道を行く



西糸屋山荘本館



朝陽に輝く穂高岳



翌 10/25(日)AM6 : 00 起床、天候は晴れ。見上げると朝陽に輝く穂高岳が神々しい。AM8 : 15 西糸屋山荘を出発する。紅葉した梓川畔から穂高岳を仰ぎ、河童橋の左岸袂で、記念撮影をする。小梨平を巡り、引き返して左岸沿いの唐松林を歩き、白樺林を通り抜けると、ログハウス調の建物で、赤い屋根が特徴的な帝国ホテルに、AM10 : 30 到着する。中に入ると暖炉に火が焚かれ、その脇のテーブルに陣取り憧れの茶とケーキを楽しむ。

河童橋袂で記念撮影



小梨平を巡る



田代湿原を訪ねる



帝国ホテルの休憩を楽しんだ後、田代湿原を訪ねる。霞沢岳を背景に、蛇行して流れる澄んだ小川。枯れた草地と紅葉する唐松林が織りなす絵画のような世界。梓川支流には、カモのつがいが仲良く泳ぎ、対岸には噴煙上げる焼岳が快々しい。

PM12 : 00 大正池ホテル 2F 食堂で昼食を摂り、PM12 : 45 帰還の途に着く。途中沢渡の足湯で疲れを癒し、往路と同様にして車に乗り合わせ、PM2 : 15 県松本合同庁舎駐車場に全員到着。解散とする。「紅葉に彩られた上高地、暖炉の火と哀愁の山唄が余韻に残る紀行だった。」